

## あかしSDGs推進審議会委員への書面での意見聴取及び (仮称)あかしSDGs推進計画意見箱での主な意見について

### 1 あかしSDGs推進審議会委員への書面での意見聴取

#### (1) (仮称)あかしSDGs推進計画素案

- ・明石のあゆみや地域特性などの説明が加わり、恵まれた住みよいまちであることが良く分かるようになった。
- ・年少人口が増加し、将来の生産年齢人口の増加に繋がることが、持続可能なまちづくりとなる。
- ・地球規模での食糧危機に備えるため、食料自給率が低いことから、第一次産業を守る施策に取り組むことを記載すべきである。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、当たり前前が当たり前でなくなっているため、暮らし方などを見直す必要がある。

#### (2) (仮称)あかしSDGs前期戦略計画骨子案

##### ○三側面のまちづくりに関する数値目標

###### 【全体】

- ・数値目標を設定し、計画の進捗を計る上で、新型コロナウイルスの影響により通常どおりの前提ではなくなっていることの説明や、評価に加える配慮事項もあらかじめ考えておく必要がある。

###### 【環境】

- ・「温室効果ガス排出量」と「ごみの排出量」は、2022年以降も新型コロナウイルスの影響を受けることが予想されるため、削減目標の数値はよく考える必要がある。
- ・総合的な指標として、包括性・優位性を備えていることや相互の比較対象が容易である「温室効果ガス排出量」が適切である。
- ・「温室効果ガス排出量」は、原発の再稼働が見通せず、再生可能エネルギーへの設備投資も余裕がなく、あまり削減できないのではないかと懸念がある。
- ・日常生活を営む上では「ごみの排出量」の方が意識しやすい。
- ・「ごみの排出量」は、巣ごもり期間が長く、家庭ごみの削減が難しいうえ、経済活動が再稼働すれば、排出量は増加に転じるのではないかと懸念がある。

###### 【社会】

- ・心の満足や意向の動機が社会の目標の本質であることから、「住み続けたいと思う人の割合」が適切である。

###### 【経済】

- ・「就業者数」が、定量的で、全体規模で偏りなく捉えており、適切である。
- ・「就業者数」を維持するためには、地場産業の起業が不可欠であり、行政による働きかけや制度設計が必要と考える。
- ・「市内総生産」の方が、分かりやすいのではないかと懸念がある。

## ○施策展開の5つの柱及び展開の方向

- ・環境・社会・経済の三側面をブレイクダウンした施策展開の柱は、ポイントが良く整理されている。さらに、理解が容易になるよう、柱①であれば、「自然共生」といった、柱の概念を要約したフレーズを設定してはどうか。
- ・分かりやすく分類されており、誰が見ても理解しやすいと思う。
- ・「施策展開の柱」の図について、柱が上から下にならんでいると、優先順位のように見えてしまうため、文字を縦書きにして並べたほうが良いのではないかと。
- ・展開の方向で「循環型社会の実現」のキーワードに「3R（リデュース・リユース・リサイクル）」を追加してはどうか。
- ・人口増に伴い安全安心なまちづくりへの取組として、防災対策の強化がより必要になる。

## 2 （仮称）あかしSDGs推進計画意見箱

### （1） （仮称）あかしSDGs推進計画骨子案

- ・SDGsを市の最上位計画に位置付けることは重要である。
- ・明石は、暮らしやすさが強みなので、SDGsの考え方を踏まえ、住みたい、住み続けたいと思われるようなまちづくりを継続すべき。
- ・「SDGs＝環境」ではなく、三側面をバランスよく取り組んでいくことを強調すべき。
- ・コロナ禍で経済活動が停滞し、生活していく上で経済も重要であることを実感した。
- ・国が定めるSDGs実施指針を踏まえ、普遍性、包摂性、参画型、透明性、説明責任の原則に基づき、経済、社会、環境の統合的向上を目指すべき。
- ・外部環境の変化の速さや個別計画の増加、SDGsが2030年まで不変であることを踏まえ、基本構想として策定するとともに、2030年度まで更新しないことが望ましい。
- ・現在の骨子案での基本構想の下、「施策展開の5つの柱」を「5つの目標（ゴール）」とし、「展開の方向」を「ターゲット」として設定すると分かりやすい。
- ・SDGsを説明するイメージ図は、独自の解釈は避けるべきであり、国連の正式なもの（5つのPの図）に変更すべき。
- ・SDGsは、目標（ゴール）の集合体を示す用語なので、数値目標を設定するべきではない。

### （2） （仮称）あかしSDGs前期戦略計画構成案

- ・前期戦略計画では、主な施策に対する取組期間と数値目標を設定すべき。
- ・SDGsの17のゴール（目標）は、方向や意思を示すものであり、三側面のまちづくりに関する数値目標を設定することは困難である。
- ・今後も子育て支援に重点的に取り組むべき。
- ・高齢者施策は、支援を必要とする人を対象としたものに転換していくべき。
- ・次世代を担う子ども達の学びの場にも積極的にデジタル化を進めてほしい。

### （3） その他

- ・県内初のSDGs未来都市に選定された明石から、持続可能な社会を実現できるような計画を目指してもらいたい。
- ・平易な言葉を使って、市民が見ても分かりやすい計画にしてほしい。